

JAGP36 TOKYO

日本集団精神療法学会 第36回大会

The 36th Annual Meeting of the Japanese Association for Group Psychotherapy

「私たち」のグループを求めて

会 期

2019年3月9日(土)~3月10日(日)

会 場

国際基督教大学 東京都三鷹市大沢3-10-2

大会長

西村 馨 (国際基督教大学)

ご挨拶

～「私たち」のグループは作れるのか？～

皆様には変わらずご健勝のこととお慶び申し上げます。

ここに36回大会のプログラム内容が整い、皆さんのお手元にお送りできることを喜んでおります。予告よりも遅れてしまいご心配をおかけしました。

この大会をお引き受けするにあたっては、私の勤務先の事情があり、マンパワーが大きな不安だったため、できる限り最小限の企画で何とか乗り切ろうと考えました。しかし、企画を考えるうちに、思っていたよりもボリュームのあるプログラムになってしまいました。

特別講演では、カリフォルニアからサツキ・イナ博士（サツキさんと呼びます）をお迎えし、「日系人収容所の子どもたち（Children of the Camps）」プロジェクトにおけるグループ体験による「隠されたトラウマ」の発見についてお話しいたします。

シンポジウムは、「心理学的になる」ことの意味について、相田信男さん、白波瀬丈一郎さん、鎌田明日香さんにさまざまな現場での「心理学的になること」をご報告いただき、小宮敬子さんを中心に、議論していきます。

大会企画ワークショップも5つ（サツキさん、小谷英文ICU名誉教授、相互支援委員会、倫理委員会、そして有志による「チーム学校の教育相談力が高まるグラスルーツ・メソッド」）あり、充実しています。また本学会の社会的貢献のために「市民公開プログラム：発達障害児を育てるグループ」も開催します。さらに、ポスター発表のセッションも導入しました。

基礎講座、体験グループ、事例検討といった研修事業に加え、自主ワークショップも活発に開催されます。こうして企画が出そろうと、その多士済々ぶりに大会長として光栄に思っています。

さて、ここで少々内輪の話をしてしまいますが、今回の実行委員会はICU関係者で行うというよりも、本拠地の異なるエキスパートからなる混成部隊です。ミーティングを重ねるにつれて、プログラム内容の議論だけでなく、個々人の委員会内での自分のあり方についての話に広がっていきました。その議論の焦点になったのは、「誰でも入れる（ラージ）グループ」についてです。CGSグループとは何なのか、そこに入れない人はどう思っているのか、自分自身はどう思っているのか、どういう枠組みを作るのが適切なのかという議論は、いつしか、それぞれが今の自分に至る経緯の語り合いへと発展しました。それがグループとしての委員会の力を高めていきました。これで「私たち」の実行委員会になった、と言ってしまうとあまりに我田引水なのですが、しかしこういうプロセスが作り出されたのは、やはりグループを実践してきた人たちゆえだと思えます。

その議論の末、CGSミーティング（今回は初日の夕方にやります）と並行して、36回大会実行委員会企画・運営による「オープンフォーラム」を開催することにしました。会員・非会員、資格を問わず、誰でも入れる、グループの実践とトレーニングについて語り合う場です。教育研修委員の方々も関わってくれます。

グループにいることは、楽しくもあり、厳しくもある。「なじめない」と感じる人も多い。大会全体で、「私」を語る場をいろいろに作りだしていこうと考えたわけです。その議論の中で、ずっと継続されてきた「こうえん」が「自主」ワークショップでありながら、全体の構造に関わる役割を果たしてくれていたことがわかりました。「私たち」のグループとは、求心性の強い一体感だけで作るのではなく（それだけではむしろ危険）、周辺のさまざまな場があることで成り立つのかな、というイメージも浮かびました。

グループは、「私」が心を動かしてなんぼ。そして、多くの方が「私」の鼓動にとも揺れして、いろんな波がまじりあい、何かが生まれてくる。近年、多職種連携がさまざまに叫ばれていますが、機能上の連携が成功するためには、人間同士の心のまじりあいが不可欠なのではないでしょうか。私が胸を張ってこの学会の良いところだと言えるのは、職種、領域、男女、経験年数を問わず、お互いを感じ合い、お互いから学び合う姿勢を持っているところです。この大会を通して、そのような雰囲気を感じてもらえたら、これ以上にうれしいことはありません。

気の早い話ではありますが、ここまで私を動かしてくれたグループの力を改めて感じ、皆さんに感謝しています。三鷹には特に名産品やうまいものがあるわけではありませんが、皆さんのお越しをお待ちしています。

日本集団精神療法学会第36回大会
大会長 **西村 馨**（国際基督教大学）

日本集団精神療法学会 第36回大会のご案内

【事前申し込み】

- 参加申し込みは事前申し込みを原則とさせていただきます。
学会員の方、非会員の方ともに、大会申し込みは、日本集団精神療法学会第36回大会ホームページ (<http://jagp1983.com/jagp36tokyo>) で、受け付けております。定員の定められたプログラムへの参加申し込みはホームページで受け付けます（先着順）。懇親会の予約も同様です。
- 参加費・懇親会費はカード決済、コンビニ支払もしくは銀行口座に振り込みとなります。
- 事前申し込みの参加費は、以下の通りです。
会 員：8,000円 非会員：9,000円
学 生（院生も含む）：5,000円 非会員（2日目のみ）：5,000円
懇親会費：4,000円（詳細は大会ホームページをご覧ください）
- 事前申し込みの期間は12月23日（日）から2月4日（月）です。
- カード支払、コンビニ支払、銀行支払ともに入金をもって事前申し込みが完了いたします。2月4日（月）までに入金をお済ませください。なお、お振り込みいただいた参加費・懇親会費は、一度お振り込みいただきますとキャンセルできませんので、ご注意ください。
- 事前申し込み完了の後、大会運営事務局から、抄録集、名札等を郵送いたします。発送開始は2018年2月中旬を予定しています。大会当日は名札を必ずお持ちください。
当日に名札をお忘れになった場合は再発行可能ですが、別途100円請求いたします。
- 手話通訳が必要な方は、事前申し込み時にその旨お知らせください。
- 会場近辺に飲食店、コンビニはありません。お弁当のご用意はいたしませんので、昼食は大学食堂をご利用ください。

【当日申し込み】

- 当日申し込みの大会参加費は以下の通りです。
会 員：9,000円 非会員：10,000円
学 生（院生も含む）：6,000円 非会員（2日目のみ）：5,000円
- 大会当日に受付でお申し込みください。その際に名札と抄録集をお渡しいたします。
- 大会当日は、受付での混雑が予想されます。釣り銭のないように参加費をご用意ください。
- 別途、抄録集が必要な方は当日1冊1,000円（税込）で販売いたします。

日本集団精神療法学会 第36回大会のご案内

【受付について】

- 大会参加受付、発表者受付の場所は、本館1階エントランスになります。
- 受付時間は下記の通りです。
3月9日(土曜日) 9:30~17:00
3月10日(日曜日) 8:30~14:00 (この時間以降は大会事務局にお越してください。)

【大会事務局】

- 大会事務局の場所は、本館2階265教室です。

【大会参加について】

- 事前申し込みをされた方は当日受付の必要はありません。
- 一部のプログラムは定員・参加条件が設定されております (p.10をご参照ください)。事前申し込みの際にホームページでお申し込みください。
空きがある場合は当日掲示し、所定の時間まで受け付けいたします。
- 大会参加中は必ず名札を着用してください。
- 大会に参加された方は守秘義務にご留意ください。会場内での撮影ならびに録音はご遠慮ください。
なお、大会運営側が原則として各会場で録音をしますが、これは大会の記録として残すもので他の目的での利用はありません。ご了承ください。
- 本大会は、日本精神神経学会精神科専門医資格認定更新・研修ポイント取得対象学会となっております。
- 喫煙は所定の喫煙所をお願いします。

【懇親会について】

- 大会1日目のプログラム終了後、19時から「大学食堂」にて懇親会を開催いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

【発表について】

■ PowerPointの使用について

- ・会場に設置されるパソコンは、MacBook Air (MacOS High-SierraおよびWindows10) となります。
- ・使用するアプリケーションは、Microsoft PowerPoint 2016 (Mac/Win) です。
- ・PowerPointを使用される方は、プログラム開始前までに各会場にてパソコンの動作確認をお済ませください。USBスロットあり (2口)。

■ ご自身のパソコンを使用される場合

- ・Mini D-Sub 15ピンの外部出力端子付きのパソコンおよび、ケーブルをご持参ください。
- ・この端子が装着されていないパソコンをご使用の場合には、アダプターを必ずご持参ください。
- ・発表中またはその準備中にバッテリー切れとなることがありますので、電源アダプターは必ずご持参ください。
- ・発表中にスクリーンセーバー、ウイルス対策ソフト等が作動したり、省電力機能で画面が見えなくなったり電源が切れてしまったりしないよう、設定をご確認ください。
- ・データ内に動画がある場合、パソコンによっては外部出力に動画が映らない可能性がありますので、動画の使用はご注意ください。

■ 発表資料について

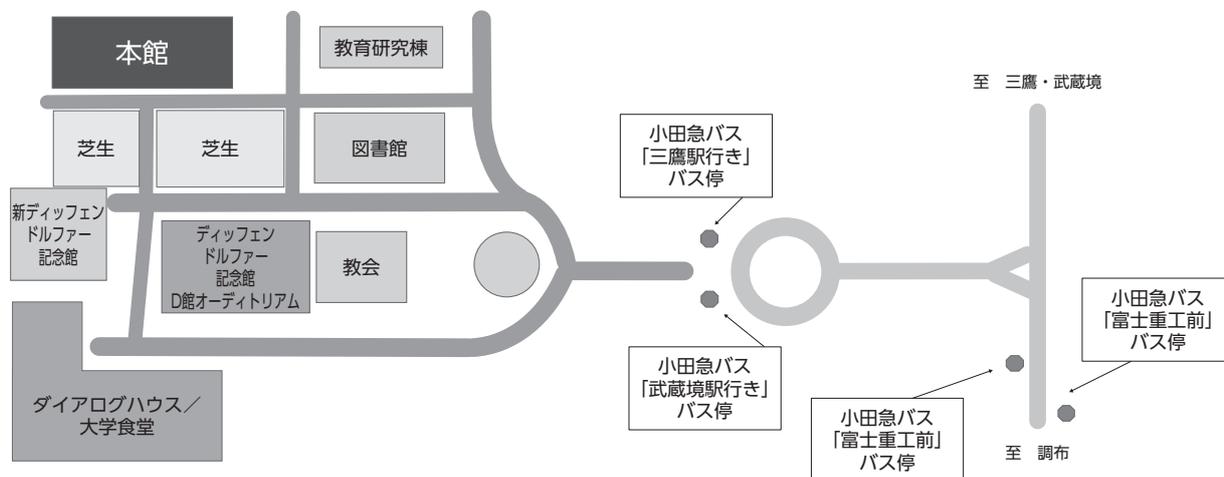
発表時に資料を配布される方は、十分な数を各自でご用意頂き、セッション開始30分前までに各会場スタッフにお渡し下さい。大会事務局はコピー希望には対応いたしませんのでご了承ください。

【その他】

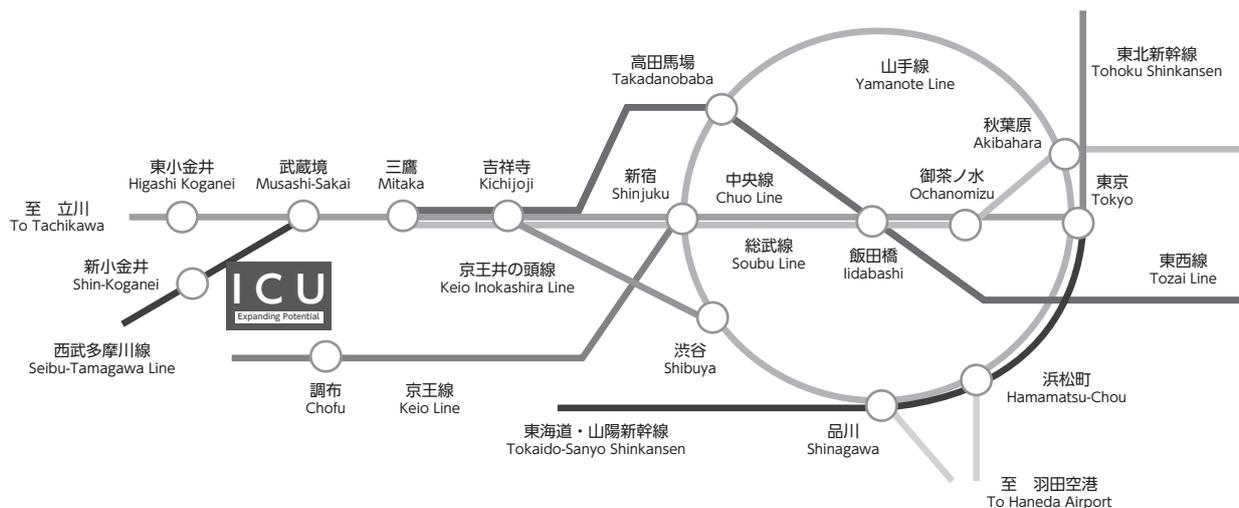
- 大会当日に託児室を設けます。ご利用の方は、ホームページ上の「託児室のご案内」をご覧ください。

交通のご案内

【ICU 会場案内図】



【会場までの経路案内】



東京駅から最寄り駅まで

- ・ JR中央線快速 武蔵境駅もしくは三鷹駅下車（約40分）

羽田空港（東京国際空港）から最寄り駅まで

- ① 電車でお越しの方
 - ・ 京急空港線で品川駅下車
品川駅からJR山手線で新宿駅下車
新宿駅からJR中央線快速で武蔵境駅もしくは三鷹駅下車
- ② 空港バスでお越しの方
 - ・ リムジンバスで吉祥寺駅下車（所要約1時間）
吉祥寺駅からJR中央線で武蔵境駅もしくは三鷹駅下車

【最寄り駅から会場まで】

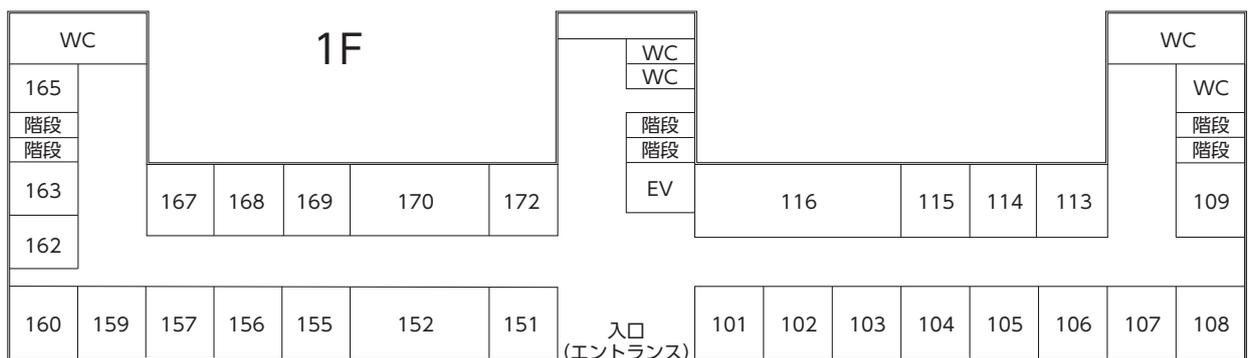
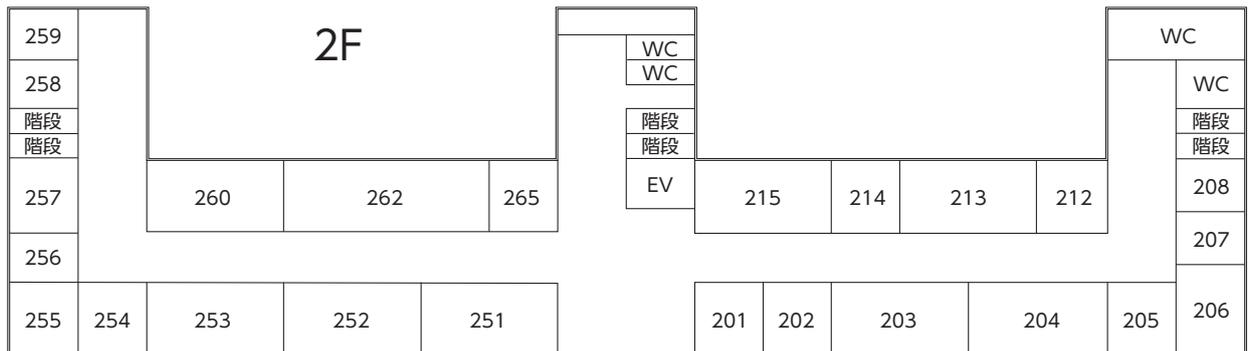
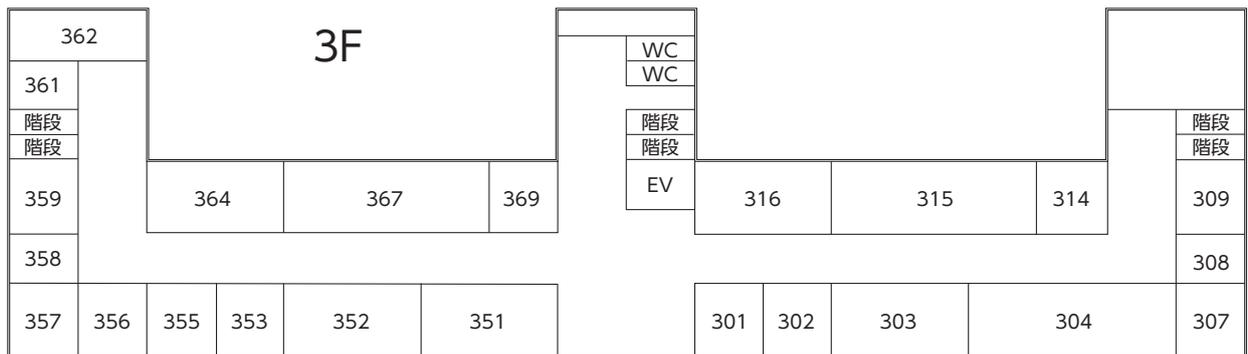
①JR武蔵境駅南口から

- ・小田急バス『国際基督教大学行（境93）』 終点（大学構内）下車 所要時間約15分
- ・小田急バス『狛江営業所・狛江駅北口行（境91）』『吉祥寺駅行（吉01）』『富士重工前』下車後 徒歩10分 所要時間約25分

②JR三鷹駅南口から

- ・小田急バス『国際基督教大学行（鷹51）』 終点下車 所要時間約25分
- ・小田急バス『武蔵小金井駅行（鷹51）』もしくは『調布駅北口（西野 御塔坂下経由）（鷹51）』『富士重工前』下車後 徒歩10分

【本館 会場案内図】



プログラム

第1日目 3月9日(土)

9:30~17:00	受付						
10:00~10:45	開会挨拶・大会長講演 「私たち」のグループを求めて 大会長 ● 西村 馨 司会 ● 武井 麻子						
10:50~12:00	特別講演 日系人収容所の子どもたち：グループ体験による隠されたトラウマの発見 講師 ● サツキ・イナ 司会 ● 西村 馨						
12:15~13:15	代議員会						
13:20~14:20	日本集団精神療法学会学会総会						
14:30~17:30	本館203 大会企画 ワークショップ1	本館251 大会企画 ワークショップ2	本館205 大会企画 ワークショップ3	本館215 基礎講座	本館359 体験グループ1	本館252 事例検討1	
	日系人収容所の子どもたち：治療方略と教訓 ● サツキ・イナ	東日本大震災等の相互支援グループ ● 安部 康代 ● 針生 江美 ● 田原 明夫 ● 高林 健示 ● 長友 敦子 ● 藤澤 美穂 ● 藤 信子	研究倫理について語る 「新・研究倫理ガイドライン」の完成に向けてー ● 樋掛 忠彦 ● 白柿 綾 ● 岡島 美朗 ● 高橋 馨 ● 松原 直美 ● 巖岩 秀章 ● 前田 樹海	● 岡島 美朗 ● 桜庭 拓郎	《コンダクター》 ● 岩淵智恵美 ● 加藤 隆弘	《司会》 ● 高橋 馨 《発表者》 ● 加藤 祐介 他 《スーパーバイザー》 ● 野村 学	
17:45~18:30	本館364 CGSミーティング	本館260 オープンフォーラム					
18:45~20:30	懇親会						

第2日目 3月10日(日)

8:30~14:00	受付						
9:15~12:15	本館203 大会企画 ワークショップ4	本館213 大会企画 ワークショップ5	本館116 市民公開プログラム 10:00~12:00	本館359 体験グループ2	本館252 事例検討2	本館253 事例検討3	
	集団精神療法に現れる怒りー孤立と甘えの間ー ● 小谷 英文	チーム学校の教育相談力が高まるグラスルーツ・メソッド~group for all~多職種協働の時代に ● 梶本 浩史 ● 徳丸 享 ● 庄司 真理 ● 鈴木 義弘 ● 松田 隼 ● 菅 武史 ● 松尾真規子	発達障害児を育てるグループ 《司会》 ● 石川与志也 《シンポジスト》 ● 小道 モコ ● 渡部 京太 ● 林 尚宏 ● 大橋 良枝 《指定討論者》 ● 生地 新	《コンダクター》 ● 野村 学 ● 藤澤 美穂	《司会》 ● 水野 高昌 《発表者》 ● 桜庭 拓郎 《スーパーバイザー》 ● 藤 信子	《司会》 ● 塚瀬 将之 《発表者》 ● 岩崎 壮登 《スーパーバイザー》 ● 高林 健示	
12:40~13:20	教育研修委員会						
13:45~16:00	シンポジウム 「私たち」のグループを求めて：グループが「心理学的になる」ことの意味 《司会》 ● 西村 馨 ● 荻本 快 《シンポジスト》 ● 相田 信男 ● 鎌田明日香 ● 白波瀬文一郎 《指定討論者》 ● 小宮 敬子						
16:00~16:10	閉会挨拶						

本館1階エントランス						
D館オーデトリウム						
D館オーデトリウム						
本館251						
本館116						
本館152	本館170	本館102	本館104	本館106	本館116	本館204
テーマセッション1 14:30~16:00	テーマセッション2 14:30~16:00	自主ワークショップ 1	自主ワークショップ 2	自主ワークショップ 3	自主ワークショップ 4	自主ワークショップ 5
統合失調症 《司会》 ● 岸 信之 ● 長谷川麻弓 《発表者》 ● 伊藤由美子 他 ● 橋本 明宏 ● 森 智秀 他	児童・思春期・青年 期1 《司会》 ● 権 成鉉 ● 青木 桃子 《発表者》 ● 小川すみれ 他 ● 林 尚宏 他 ● 堀川 直希 他	“機能的サブグル ープ”で対人コミュニ ケーションを学ぶ ● 鴨澤あかね ● 大島寿美子 ● 泉屋 有理	ゲシュタルト療法 ワークショップ ● 室城 隆之	グループアナリシス・ 体験グループワーク シヨップⅧ —ミディアングル ープのなかで集団と個 人を語り合う— ● 関 百合	スクールカウンセ ラー×集団精神療法 —学校でおきるこ とを集団精神療法的な 視点と方法で検討す る— ● 梶本 浩史 ● 鎌田明日香 ● 菊地寿奈美 ● 菅 武史 ● 新本 葉子	子どものグループを 考える2 —児童養護施設や児 童心理治療施設で行 われているグループ の実践— ● 渡部 京太 ● 塩谷 隼平 ● 田淵 賀裕 ● 中里 容子 ● 早川 洋
テーマセッション3 16:15~17:15	テーマセッション4 16:15~17:15					
教育研修 《司会》 ● 古賀恵里子 ● 太田 裕一 《発表者》 ● 板東 充彦 他 ● 野島 一彦	サイコドラマ 《司会》 ● 前田 潤 ● 石川 淳子 《発表者》 ● 高橋 美紀 他 ● 藤巻加奈子 他					

ダイアログハウス1階大学食堂

本館1階		本館106	本館204	本館205	本館215	本館251
本館152	本館170	自主ワークショップ 6	自主ワークショップ 7	自主ワークショップ 8	自主ワークショップ 9	自主ワークショップ 10
テーマセッション5 9:15~10:45	テーマセッション6 9:15~10:45	ナラティブなグル ープアプローチを体験 する(その9) —リフレクティング による体験グループ の展開— ● 田代 順 ● 望月 洋介	精神科慢性疾患の力 動的集団精神療法の 会 ● 野島 一彦 ● 権 成鉉 ● 太田 裕一 ● 井上 麻紀	広島原爆とトラウマ ~身体に刻まれた記 憶~ 「語り継ぐ」とはど ういうことなのか ● 吉野比呂子	「不祥事」(あるいは 「Dr.Y問題」と呼ば れる出来事と学会の 「トラウマ」をめく つて Part2 ● 河合 健彦 ● 田邊 等 ● 浅田 護 ● 菊地寿奈美	こうえん ーそこに あるようにー ● 高橋 馨 ● 野中 稔 ● 藤澤 希美 ● 卜部 裕介
テーマセッション7 11:00~12:30	テーマセッション8 11:00~12:30	本館201				
メンタルヘルス 《司会》 ● 稲村 茂 ● 堀井 湖浪 《発表者》 ● 堀 有伸 ● 武井 麻子 他 ● 棚山 翔子 他	依存症 《司会》 ● 樋掛 忠彦 ● 相澤 秀子 《発表者》 ● 古賀 禎也 他 ● 宮城 崇史 他 ● 中里 容子	ポスターセッション 11:00~12:30 《発表者》 ● 長谷川麻弓 ● 鴨澤あかね ● 落合 尚美 ● 木村 能成 他 ● 高 富栄 他 ● 川合 裕子 他 ● 要野 歩 ● 小黒明日香 ● 吉岡 直子 他				
本館251						
D館オーデトリウム						
D館オーデトリウム						

プログラムの参加について

- ・各プログラムの定員、参加資格は以下の通りです。
- ・定員のあるプログラムについては、事前申し込みの際にお申し込みください。
- ・定員に満たないプログラムについては、会場インフォメーションをご確認ください。
会場インフォメーションの場所：本館1階エントランス

設置時間は下記の通りです。

3月9日（土曜日）9：30～17：00

3月10日（日曜日）8：30～14：00

1日目 3月9日（土）

プログラム	定員	参加資格
大会企画ワークショップ		
1 日系人収容所の子どもたち：治療方略と教訓	なし	なし
2 東日本大震災等の相互支援グループ	なし	なし
3 研究倫理について語る －“新・研究倫理ガイドライン”の完成に向けて－	30名	なし
基礎講座		
基礎講座	80名	なし
体験グループ		
体験グループ1	15名	なし
事例検討		
事例検討1 依存症グループにおける怒りの手当て ～怒りの爆発の再演～	35名	会員限定
自主ワークショップ		
1 “機能的サブグループ”で対人コミュニケーションを学ぶ	15名	なし
2 ゲシュタルト療法ワークショップ	20名	なし
3 グループアナリシス・体験グループワークショップⅧ－ ミディアングループの中で集団と個人を語り合う－	18名	会員限定
4 スクールカウンセラー×集団精神療法 －学校でおきることを集団精神療法的な視点と方法で検討する－	30名	なし
5 子どものグループを考える2－児童養護施設や児童心理治療施設で行われているグループの実践－	なし	なし
その他の教育研修関連		
CGSミーティング	なし	スーパーバイザー グループセラピスト キャンディデイト
オープンフォーラム (誰でも参加できる、グループの実践とトレーニングを語り合う場)	なし	なし

2日目 3月10日(日)

プログラム	定員	参加資格
大会企画ワークショップ		
4 集団精神療法に現れる怒りー孤立と甘えの間ー	60名	なし
5 チーム学校の教育相談力が高まるグラスルーツ・メソッド ～group for all～ 多職種協働の時代に	なし	なし
体験グループ		
体験グループ2	15名	なし
事例検討		
事例検討2 グループが形を変えて復活し、発展に至った過程 ー精神科慢性期療養病棟における多職種運営グループー	50名	なし
事例検討3 コミュニティミーティングを振り返る ー閉鎖病棟になって、あれから1年半ー	50名	会員限定
自主ワークショップ		
6 ナラティブなグループアプローチを体験する(その9) ーリフレクティングによる体験グループの展開ー	20名	なし
7 精神科慢性疾患の力動的集団精神療法の会	20名	会員限定
8 広島原爆とトラウマ～身体に刻まれた記憶～ 「語り継ぐ」とはどういうことなのか	30名	なし
9 「不祥事」(あるいは「Dr. Y問題」)と呼ばれる出来事と学会 の「トラウマ」をめぐって partⅡ	なし	会員限定
10 こうえん ーそこにあるようにー	なし	なし

3月9日(土)

大会長講演

10:00~10:45

D館オーディトリウム

「私たち」のグループを求めて

〈大会長〉 西村 馨 (国際基督教大学)
〈司会〉 武井 麻子 (Office-Asako)

特別講演

10:50~12:00

D館オーディトリウム

日系人収容所の子どもたち：グループ体験による隠されたトラウマの発見
Children of the Camps: Uncovering Buried Trauma through Group Process

〈講師〉 サツキ・イナ (カリフォルニア州立大学サクラメント校名誉教授)
〈司会〉 西村 馨 (国際基督教大学)

代議員会

12:15~13:15

本館251

日本集団精神療法学会 学会総会

13:20~14:20

本館116

大会企画ワークショップ1

14:30~17:30

本館203

日系人収容所の子どもたち：治療方略と教訓
Children of the camps: Therapeutic strategies and lessons learned

サツキ・イナ (カリフォルニア州立大学サクラメント校名誉教授)

大会企画ワークショップ2

14:30~17:30

本館251

東日本大震災等の相互支援グループ (企画・運営 JAGP相互支援委員会)

安部 康代 (安田病院)
針生 江美 (国見台病院)
田原 明夫 (田原メンタルクリニック)
高林 健示 (クボタ心理福祉研究所)
長友 敦子 (宮城県中央児童相談所)
藤澤 美穂 (岩手医科大学教養教育センター)
藤 信子 (立命館大学)

大会企画ワークショップ3

14:30~17:30

本館205

研究倫理について語る
—“新・研究倫理ガイドライン”の完成に向けて— (企画・運営 JAGP倫理委員会)

樋掛 忠彦 (長野県立こども病院)
白柿 綾 (聖カタリナ大学)
岡島 美朗 (自治医科大学附属さいたま医療センター)
高橋 馨 (日本医科大学付属病院精神神経科)
松原 直美 (松山記念病院)
巖岩 秀章 (埼玉工業大学)
前田 樹海 (東京有明医療大学)

基礎講座	14:30~17:30	本館215
岡島 美朗 (自治医科大学附属さいたま医療センター) 桜庭 拓郎 (医療法人恵愛会青木病院心理室)		

体験グループ1	14:30~17:30	本館359
〈コンダクター〉 岩淵智恵美 (陽和病院) 加藤 隆弘 (九州大学大学院医学研究院)		

事例検討1	14:30~17:30	本館252
依存症グループにおける怒りの手当て～怒りの爆発の再演～		
〈司 会〉 高橋 馨 (日本医科大学付属病院精神神経科) 〈発表者〉 加藤 祐介 (赤城高原ホスピタル) 永尾奈生実 (赤城高原ホスピタル) 〈スーパーバイザー〉 野村 学 (オリブ山病院・沖縄県スクールカウンセラー)		

テーマセッション1 統合失調症	14:30~16:00	本館152
〈司 会〉 岸 信之 (京都桂病院) 長谷川麻弓 (あつぎ心療クリニック)		
グループホームにおけるグループワーク 第2報	伊藤由美子 (かわぐち今村クリニック) 宇都 裕子 (かわぐち今村クリニック) 稲庭 毅 (かわぐち今村クリニック) 高林 健示 (クボタ心理福祉研究所)	
初心者コンダクターのグループにおける困難さについて	橋本 明宏 (慈雲堂病院地域連携推進部デイケア室)	
統合失調症患者の集団精神療法—クロザリルグループの役割—	森 智秀 (のぞえ総合心療病院) 坂口 信貴 (のぞえ総合心療病院) 堀川 公平 (のぞえ総合心療病院)	

テーマセッション2 児童・思春期・青年期1	14:30~16:00	本館170
〈司 会〉 権 成鉉 (クリニックソフィア) 青木 桃子 (埼玉県立医療センター)		
不登校の子どもを持つ親への支援—“親の会”の調査を通じて—	小川すみれ (北星学園大学大学院) 鴨澤あかね (北星学園大学)	
ソーシャルスキル・トレーニングのプログラム内におけるプレ・アドレッセンスの集団力動	林 尚宏 (広島市こども療育センター) 渡部 京太 (広島市こども療育センター) 中村 慎 (広島市こども療育センター) 野村 亮介 (広島市こども療育センター)	
女性セラピストの死が思春期グループに残したもの	堀川 直希 (久留米厚生病院) 堀川 公平 (のぞえ総合心療病院) 白石 潔 (のぞえ総合心療病院)	

3月9日(土)

テーマセッション3 教育研修

16:15~17:15

本館152

〈司 会〉 古賀恵里子 (大阪経済大学人間科学部)
太田 裕一 (静岡大学)

事例検討会におけるグループ構造の検討—権力問題への対処—

板東 充彦 (跡見学園女子大学心理学部)
本山 智敬 (福岡大学人文学部)
松元 知美 (産業医科大学医学部)
早瀬 由紀 (メンタルクリニックあいりす)
金子 周平 (九州大学人間環境学研究院)
田中 勝則 (北海学園大学経営学部)
高松 真理 (久留米大学)

3タイプのエンカウンター・グループをシリーズとして体験する
プログラムの実践と検討

野島 一彦 (跡見学園女子大学)

テーマセッション4 サイコドラマ

16:15~17:15

本館170

〈司 会〉 前田 潤 (室蘭工業大学)
石川 淳子 (ひだクリニック)

サイコドラマにおける主役のテーマとグループの関り~「集団精神
療法としてのサイコドラマ」自主ワークショップの実践を通して~

高橋 美紀 (S&Cサイコドラマ・ラボ)
藤巻加奈子 (誠心会神奈川病院)

トレーニングプログラムにおけるアクションメソッドの活用
—「丁寧にグループを勉強する会」の実践を通して②—

藤巻加奈子 (誠心会神奈川病院)
杉山恵理子 (明治学院大学)

自主ワークショップ1

14:30~17:30

本館102

“機能的サブグループ”で対人コミュニケーションを学ぶ

鴨澤あかね (北星学園大学)
大島寿美子 (北星学園大学)
泉屋 有理 (相川記念病院)

自主ワークショップ2

14:30~17:30

本館104

ゲシュタルト療法ワークショップ

室城 隆之 (江戸川大学)

自主ワークショップ3

14:30~17:30

本館106

グループアナリシス・体験グループワークショップⅧーメディアングループのなかで集団と個人を語り合うー

関 百合（一橋大学保健センター）

自主ワークショップ4

14:30~17:30

本館116

スクールカウンセラー×集団精神療法ー学校でおきることを集団精神療法的な視点と方法で検討するー

梶本 浩史（東京都公立学校スクールカウンセラー）
鎌田明日香（札幌市スクールカウンセラー）
菊地寿奈美（京都市スクールカウンセラー）
菅 武史（広島市教育委員会スクールカウンセラー）
新本 葉子（広島県・広島市スクールカウンセラー）

自主ワークショップ5

14:30~17:30

本館204

子どものグループを考える2ー児童養護施設や児童心理治療施設で行われているグループの実践ー

渡部 京太（広島市こども療育センター）
塩谷 隼平（東洋学園大学）
田淵 賀裕（関東医療少年院）
中里 容子（神奈川県立精神医療センター）
早川 洋（こどものこころのケアハウス嵐山学園）

CGSミーティング

スーパーバイザー、グループサイコセラピスト及び
キャンディデイトの定例会

17:45~18:30

本館364

オープンフォーラム（企画・運営 36回大会実行委員会）
誰でも参加できる、グループの実践とトレーニング
を語り合う場

17:45~18:30

本館260

3月10日（日）

大会企画ワークショップ4

9:15~12:15

本館203

集団精神療法に現れる怒り—孤立と甘えの間—

小谷 英文（PAS心理教育研究所・国際基督教大学名誉教授）

大会企画ワークショップ5

9:15~12:15

本館213

チーム学校の教育相談力が高まるグラスルーツ・メソッド～group for all～多職種協働の時代に

〈司 会〉 梶本 浩史（東京都立学校スクールカウンセラー）
〈スーパーバイザー〉 徳丸 享（立正大学心理学部）
〈実践者〉 庄司 真理（東京都立学校スクールカウンセラー）
鈴木 義弘（町田市教育センター）
松田 隼（町田市立小山ヶ丘小学校）
〈コンダクター〉 菅 武史（広島市教育委員会スクールカウンセラー）
松尾真規子（駒沢女子大学）

市民公開プログラム

10:00~12:00

本館116

発達障害児を育てるグループ

〈司 会〉 石川与志也（ルーテル学院大学）
〈シンポジスト〉 小道 モコ（bonキッズ谷町）
渡部 京太（広島市こども療育センター）
林 尚宏（広島市こども療育センター）
大橋 良枝（聖学院大学）
〈指定討論者〉 生地 新（北里大学）

体験グループ2

9:15~12:15

本館359

会員コース

〈コンダクター〉 野村 学（オリブ山病院・沖縄県スクールカウンセラー）
藤澤 美穂（岩手医科大学教養教育センター）

事例検討2

9:15~12:15

本館252

グループが形を変えて復活し、発展に至った過程—精神科慢性期療養病棟における多職種運営グループ—

〈司 会〉 水野 高昌（帝京平成大学）
〈発表者〉 桜庭 拓郎（医療法人恵愛会青木病院心理室）
〈スーパーバイザー〉 藤 信子（立命館大学）

事例検討3

9:15~12:15

本館253

コミュニティミーティングを振り返る—閉鎖病棟になって、あれから1年半—

〈司 会〉 塚瀬 将之 (式場病院)
〈発 表 者〉 岩崎 壮登 (群馬病院)
〈スーパーバイザー〉 高林 健示 (クボタ心理福祉研究所)

テーマセッション5 治療構造・チーム

9:15~10:45

本館152

〈司 会〉 池田 真人 (聖路加国際病院)
神 恵子 (神奈川県立保健福祉大学)

二つのデイケア閉鎖に関する考察
—その時メンバーはどう思っていたのか?—

田島 徹子 (医療法人梨香会あきもと自立支援センター)

総合病院精神科外来での地域移行を支えるグループの可能性

吉川 真衣 (大阪医科大学神経精神医学教室)
川茂 聖哉 (かわしげクリニック)

精神科急性期病棟におけるクリエイティブ・アーツ・セラピー
—多職種協働の有用性を探る—

斎藤佐智子 (特定医療法人群馬会群馬病院)
神宮 京子 (特定医療法人群馬会群馬病院)
田中 徹哉 (特定医療法人群馬会群馬病院)
野村 静香 (特定医療法人群馬会群馬病院)

テーマセッション6 児童・思春期・青年期2

9:15~10:45

本館170

〈司 会〉 嶋田 博之 (関東医療少年院)
村上 健 (村上病院)

東京都児童相談センター「ばお」の取り組み
—治療共同体は、子ども達に生きる力を授けられるのか?—

黒江美穂子 (東京都児童相談センター治療指導課)

児童・思春期病棟における「男子中学生の会」の治療的意義

阿部 正信 (埼玉県立精神医療センター)

集団精神療法に表れる被虐待児の道徳性発達

菊池 清美 (社会福祉法人風と虹
児童心理治療施設筑後いすみ園)
堀川 公平 (のぞえ総合心療病院)

テーマセッション7 メンタルヘルス

11:00~12:30

本館152

〈司 会〉 稲村 茂 (メンタルクリニック秋田駅前)
堀井 湖浪 (日本赤十字看護大学)

原発事故後の被災地での活動を、グループの観点から検討する

堀 有伸 (ほりメンタルクリニック)

専門職をサポートするグループの実践
—「ナースのためのグループ研究会」の歴史を振り返る—

武井 麻子 (Office-Asako)
小宮 敬子 (日本赤十字看護大学)

自律訓練法が抑うつに及ぼす影響—大学生を対象とした比較研究—

棚山 翔子 (クボタ心理福祉研究所)
巖岩 秀章 (埼玉工業大学)

3月10日 (日)

テーマセッション8 依存症

11:00~12:30

本館170

〈司 会〉 樋掛 忠彦 (長野県立こども病院)

相澤 秀子 (NPO法人あんだんてグループホームくくる)

治療共同体想定の理念に基づいた依存症への危機介入
—グループ崩壊の危機にメンバーやスタッフを支える治療的構造—

古賀 禎也 (のぞえ総合心療病院)
馬郡 芳弥 (のぞえ総合心療病院)
上西 章人 (のぞえ総合心療病院)
白石 潔 (のぞえ総合心療病院)
坂口 信貴 (のぞえ総合心療病院)
堀川 公平 (のぞえ総合心療病院)

ワークブックを使ったグループが「心理学的になる」には？
—京都市こころの健康増進センター薬物依存症再発予防プログラム (KEEP) の場合—

宮城 崇史 (京都大学大学院)
湯浅 健介 (京都市こころの健康増進センター)

ワークブックを使ったグループが「心理学的になる」には？
—依存症外来における感情焦点型プログラム (SCOP) の場合—

中里容子 (神奈川県立精神医療センター)

ポスターセッション

11:00~12:30

本館201

相互研修グループworksTokyoという試み
—それぞれのつながりを求めて—

長谷川麻弓 (worksTokyo・あつき心療クリニック)
梶本 浩史 (worksTokyo・東京都公立学校
スクールカウンセラー)
高橋 馨 (worksTokyo・
日本医科大学付属病院精神神経科)
中里 容子 (worksTokyo・
神奈川県立精神医療センター)

機能的サブグループと心理力動的グループにおける体験の違い
—フォース・フィールドを用いた分析から—

鴨澤あかね (北星学園大学)
大島寿美子 (北星学園大学)

青年期発達障害のメンバーを抱えるグループ機能についての考察

落合 尚美 (聖路加国際病院リエゾンセンター 精神科)

児童・思春期の子ども達を対象とした野外キャンプの取り組み
—子どもの成長する力に着目して—

木村 能成 (国際基督教大学大学院)
那須 里絵 (国際基督教大学大学院)
西村 馨 (国際基督教大学)

KOBEグループ研究会 (KGB) の運営と歴史
—みなさん、グループしてますか？—

高 富栄 (こここのクリニック)
熱田 智子 (有馬高原病院)
角 邦弘 (聖和錦秀会阪本病院)
高林 健示 (クボタ心理福祉研究所)
吉川 真衣 (大阪医科大学神経精神医学教室)

震災を語り継ぐことの意義—災害について語るグループの8年間—

吉岡 直子
高林 健示 (クボタ心理福祉研究所)
関 百合 (一橋大学保健センター)
高橋 文絵 (世田谷区教育相談室)
橋本 明宏 (慈雲堂病院地域連携推進部デイケア室)

「仕組み」を「マネジメントすること」についての考察
—LfA Japanでのアドミニストレーター体験と治療共同体での訓練体験—

川合 裕子 (京都大学医学部附属病院デイケア診療部)
古賀恵里子 (大阪経済大学 人間科学部)

職員研修という枠組の中で行うグループ—働くことを支える場・「NANBU GROUP」—

要野 歩 (NPO法人リトルポケット)

行政機関の組織内における継続的な研修実施過程をグループの視点で捉える試み
—組織の力動を捉えることで、課題発見と組織改変の機会を使う可能性の模索—

小黒明日香 (札幌市児童相談所)

自主ワークショップ6

9:15~12:15

本館106

ナラティブなアプローチを体験する(その9)ーリフレクティングによる体験グループの展開ー

田代 順(山梨英和大学)
望月 洋介(浜松医科大学精神医学講座)

自主ワークショップ7

9:15~12:15

本館204

精神科慢性疾患の力動的集団精神療法の会

野島 一彦(跡見学園女子大学)
権 成鉉(クリニックソフィア)
太田 裕一(静岡大学)
井上 麻紀(近畿中央病院)

自主ワークショップ8

9:15~12:15

本館205

広島原爆とトラウマ~身体に刻まれた記憶~「語り継ぐ」とはどういうことなのか

吉野比呂子(上智大学)

自主ワークショップ9

9:15~12:15

本館215

「不祥事」(あるいは「Dr. Y問題」)と呼ばれる出来事と学会の「トラウマ」をめぐって Part 2

河合 健彦(特定医療法人群馬会群馬病院)
菊地寿奈美(京都市スクールカウンセラー)
浅田 護(浅田心療クリニック)
田邊 等(北星学園大学)

自主ワークショップ10

9:15~12:15

本館251

こうえんーそこにあるようにー

高橋 馨(日本医科大学付属病院精神神経科)
野中 稔(保健同人社)
藤澤 希美(愛知医科大学看護学部精神看護学)
ト部 裕介(関東中央病院)

教育研修委員会

12:40~13:20

本館251

シンポジウム

13:45~16:00

D館オーディトリウム

「私たち」のグループを求めて~グループが「心理学的になる」ことの意味

〈司 会〉 西村 馨(国際基督教大学)
 荻本 快(相模女子大学)
〈シンポジスト〉 相田 信男(特定医療法人群馬会群馬病院)
 鎌田明日香(札幌市スクールカウンセラー・大通りつげのクリニック)
 白波瀬丈一郎(慶應義塾大学)
〈指定討論者〉 小宮 敬子(日本赤十字看護大学)

日本集団精神療法学会 第36回大会

実行委員会組織

大会会長：西村 馨

事務局長：荻本 快

運営委員（五十音順）：石川与志也 揖斐衣海 大橋良枝 岡島美朗 荻本尚子 梶本浩史 木村能成
菅 武史 高橋 馨 塚瀬将之 中里容子 野村 学 長谷川麻弓 巖岩秀章
渡部京太

大会事務局

国際基督教大学 心理学研究室

〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2

e-mail: 36tokyo@jagp1983.com

大会HP：http://jagp1983.com/jagp36tokyo

後援：一般社団法人 日本臨床心理士会 一般社団法人 東京臨床心理士会

日本集団精神療法学会第36回大会 プログラム

大会事務局

国際基督教大学 心理学研究室

〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2

e-mail:36tokyo@jagp1983.com

大会HP : <http://jagp1983.com/jagp36tokyo>